

第1章 2016（平成28）年度の主な取組

2016（平成28）年度に行った環境保全施策の中で、特に力を入れた取組などを報告します。

1 目黒区環境基本計画の改定

区の今後10年間の環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、「目黒区環境基本計画」を改定しました。

- ・区民の皆さん、団体、事業者などを「めぐろの環境を支える〈ひと〉」として、体系の中に明確に位置づけました。
- ・「めぐろの環境を支える〈ひと〉」への効率的・効果的な働きかけを目指し、重点的に取り組むテーマ「一人ひとりの自主的な行動を促す」を設定しました。
- ・計画の達成状況を把握していくため、施策体系「基本方針」「施策の目標」「主な施策」の3階層に沿って指標を設定しました。



2 地球温暖化・省エネルギー対策の推進

地球温暖化は地球規模の問題ですが、一人ひとりが日常生活の中で環境にやさしい行動を実践していくことが重要です。

「住宅用新エネルギー*及び省エネルギー機器設置費助成」を行いました。

※新エネルギー：太陽光発電、風力発電などの自然エネルギーや廃棄物による発電など、石油代替エネルギーとなるもの。助成対象機器では、太陽光発電システム、家庭用燃料電池システムを指す。

本事業は、環境負荷の少ないエネルギー利用を促進し、地球温暖化対策の推進を目的として行っています。二酸化炭素の排出量の削減に貢献する新エネルギー機器や省エネルギー機器を設置する区民の皆さんを対象に、設置経費の一部を助成しました。

なお、省エネルギーに役立つ機器として、新たに家庭用蓄電システムを追加しました。

<2016（平成28）年度実績>

()：2015（平成27）年度実績

助成対象機器	助成額	助成額の上限	申請件数	助成件数
太陽光発電システム	本体価格の 3分の1	10万円	35件 (44件)	31件 (40件)
家庭用燃料電池システム		5万円	85件 (88件)	84件 (87件)
家庭用蓄電システム		5万円	5件	5件
CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器		3万2千円	34件 (22件)	31件 (21件)
HEMS（家庭用エネルギー管理システム）		2万円	21件 (64件)	20件 (63件)
マンション共用部LED照明		15万円	13件 (6件)	12件 (5件)

3 みどりに関する多様な取組

みどりは、ヒートアイランド現象の緩和、都市景観の向上、生物多様性の確保、都市防災への寄与などとともに、人々にうるおいと安らぎをあたえるなど、多様な効用をあわせもっています。目黒のサクラ再生計画の取組として、「碑さくら通り・田向円融寺通り・碑文谷五丁目緑地 サクラ再生実行計画」を策定しました。また、生物多様性に関する取組として、東京工業大学内で住民参加型の自然環境調査「いきもの発見隊」を大学と共同で開催し、みどりやいきもの大切さの普及・啓発を図りました。

● 目黒のサクラ再生計画の取組

2015（平成27）年度から実施している街路樹・緑道などの樹木診断の結果、特に腐朽などの被害が多かった碑さくら通り、田向円融寺通り、碑文谷五丁目緑地について、サクラ再生実行計画の策定に取り組み、対象路線の植替え品種や間隔の検討を行いました。

計画の策定にあたっては、地域の皆さんや樹木医などの意見を取り入れるため、地元検討会を開催しました。

基本的な方針として、樹勢が健全な桜についてはそのまま保全育成し、倒木の危険や枯損を生じた桜については、各路線の方針に従い順次植替えを行っていきます。



＜碑さくら通りの植替えイメージ＞
ソメイヨシノとコシノヒガンザクラによる
植替え



＜田向円融寺通りの植替えイメージ＞
両側植栽の間隔はソメイヨシノによる
千鳥配置で植替え

● 身近なみどりの取組への支援

公園の清掃・花壇管理などの維持管理活動や、地域住民を対象としたイベントの企画運営を行うボランティア団体を公園活動登録団体として登録し、積極的に支援を行っています。

7公園で17の団体が活動を行いました。



＜公園活動登録団体による花壇の手入れ＞

● みどりの拠点となる公園の改良

区民の皆さんとの検討会をもとに、衾町公園交通施設、上四児童遊園の改良工事を行いました。地域の皆さんの意見を取り入れながら、遊具やトイレを更新するなど、子どもたちがのびのびと遊び、地域の皆さんが憩うことができる明るい空間へとリニューアルしました。



<衾町公園の交通施設>



<上四児童遊園のすべり台>

● 「土のいきもの発見隊」の開催（東京工業大学共催）

区民参加により区内の身近ないきものの生息状況を調べ、専門の先生の講義により自然や生物多様性の大切さについて学ぶイベント「いきもの発見隊」を毎年開催しています。目黒川に加え、東京工業大学大岡山キャンパスでも開催しました。「土のいきもの」をテーマに、40人の参加者が顕微鏡などを使って、普段目にはできない土の中にいるいきものたちのミクロな世界の多様な実態を観察しました。



<観察する土を採取する参加者>



<顕微鏡での土のいきものの観察>

● みどり豊かなまちづくりの推進

区民の皆さん・事業者などの各主体がみどり豊かなまちづくりに積極的に参画するとともに、自分たちの身近なところからみどりを守り、つくり、はぐくむ取組を支援するため、みどりのまちなみ助成や保存樹木などの新規指定を行いました。

接道部緑化25件、屋上緑化7件についてみどりのまちなみ助成を行い、保存樹木などは樹木12件30本、生け垣1件を新たに指定しました。

4 環境学習の推進

地球規模で起こっている環境問題は、日常生活と深くつながっています。環境問題を身近な問題として捉え、できることを実践していく人が増えていくことを目指して、環境推進員養成講座（第9期）を開催しました。

2016（平成28）年度から目黒区エコプラザ事業となりました。「めざそう！あなたが地域の環境リーダー」をテーマに、全6回の連続講座を開催し、12人の方が講座を修了しました。この講座は、区民の皆さんが企画委員となって企画運営を行っています。

修了後は、「めぐろエコサポーター制度」へ登録することができ、講座の企画や会報の作成、自主グループへの参加などの実践の場が用意されています。ここで1年間活動をすると、環境推進員として登録されます。



<企画委員会の様子>

<環境推進員養成講座プログラム>

回	内容
1	オリエンテーション（講座案内、受講の心構え、修了生の活動紹介、交流タイムなど）
2	フィールドワーク「ごみの問題から身近な環境を考える」
3	講義「食の問題から身近な環境を考える」
4	フィールドワーク「区民の取組・活動を知る」 プレ・ワークショップ（グループ討議の準備）
5	ワークショップⅠ（グループ討議）「今、私たちにできることは」
6	ワークショップⅡ（グループ発表と意見交換）、修了証授与

※講師は、東京工業大学教授 神田学氏、環境カウンセラー 杉村悦子氏、NPO法人コミュニティスクール・まちデザイン理事長 近藤恵津子氏など



<第2回 リサイクルセンターの見学>



<第4回 生ごみ堆肥化施設の見学>

5 循環型社会の形成に向けて

2016（平成28）年3月に改定した「目黒区一般廃棄物処理基本計画」では、目標達成のための取組のイメージとして、①1人1日あたりごみ量を約100g減量、②区全体のごみ量を年間約10,000トン減量、③リサイクル率を約32%に引き上げの3点を掲げています。この取組について、区民の皆さんや区内団体・事業者に向け、効果的な普及啓発を図るため、2016（平成28）年度から、「MGR100」プロジェクトスタートキャンペーンを実施しました。

※「MGR100」とは目黒区一般廃棄物処理基本計画の取組である「1人1日あたりごみ量約100g減量」に向けた合言葉、M（目黒）・G（ごみ）・R（リデュース）・100gの略称。

●「MGR100」プロジェクト第1弾スタートキャンペーン

「MGR100」プロジェクトの一環として、次のとおりスタートキャンペーンを行いました。採用された取組シート、動画作品は、区ホームページなどに掲載しています。

①「僕が！私が！ごみ減量リーダー！！、家庭の取組紹介」キャンペーン

【取組概要】小・中学生やその家族が家庭内で取り組んだごみ減量の内容を取組シートに記入し提出。

【応募結果】小学生3作品
その他関係者（家族など）6作品

②「動画で応募！！私のごみ減量アイデア」キャンペーン

【取組概要】ごみ減量に向けた取組についての動画を募集。

【応募結果】動画7作品（事業所）

③「3Rを進めるためのポスター・標語コンテスト」キャンペーン

【取組概要】環境省及び、東京都から「平成28年度ごみの散乱防止と3Rを進めるためのポスター・標語コンテスト」の作品募集があり各部門につき1作品を推薦しました。

【応募結果】環境省ポスター（小学生）1作品
東京都ポスター（小学生）24作品
（高校生）7作品
東京都 標語（小学生）71作品



<「MGR100」スタートキャンペーンチラシ>



<取組シート見本>

●「MGR100」プロジェクト第2弾 ラッピング清掃車

清掃車両側面に、ラッピングシートなどによる広報デザインを貼付しました。デザインは、「目黒区一般廃棄物処理基本計画」の目標や具体的な取組で区民の皆さんにPRできるものを掲載し、区の直営車11台が走行を開始しました。



<ごみ減量キャラクターしゅーしゅーさん>